

《担当者名》 川添 恵理子 e-kawa@hoku-iryo-u.ac.jp 竹生 礼子 増田 悠佑

【概要】

在宅療養者と家族を単位とした援助を理解し、暮らしの場における援助の展開方法およびコミュニケーション技術を体験的に学ぶ。

【学修目標】

- (1) 療養者と家族との信頼関係をつくるためのコミュニケーション方法を学ぶ。
- (2) 事例をもとに在宅療養者とその家族に対する看護過程と展開方法を学び、家族を単位とした援助に必要な視点を持つことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	在宅看護に必要なコミュニケーション技術(1)	療養者との信頼関係構築とコミュニケーション	川添
2	在宅看護に必要なコミュニケーション技術(2)	面接技法を使った療養者との面接 コミュニケーション技術・面接技法とは	川添
3	在宅看護に必要なコミュニケーション技術(3)	面接技法を使った療養者との面接 ロールプレイ(面接の実際)	川添・増田・竹生
4	在宅看護に必要なコミュニケーション技術(4)	面接技法を使った療養者との面接 面接の評価と改善	川添・増田・竹生
5	継続看護と在宅看護過程の展開(1)	継続看護における在宅看護過程とは	竹生
6	継続看護と在宅看護過程の展開(2)	情報収集と情報の整理、情報の解釈と分析、援助の方向性	竹生
7	継続看護と在宅看護過程の展開(3)	在宅療養者の健康と医療の理解・アセスメント(概論)	増田
8	継続看護と在宅看護過程の展開(4)	事例を使ったアセスメントの実際 健康と医療に関するアセスメント	川添・増田・竹生
9	継続看護と在宅看護過程の展開(5)	在宅療養者の日常生活・心理社会面の理解・アセスメント(概論)	竹生
10	継続看護と在宅看護過程の展開(6)	事例を使ったアセスメントの実際 日常生活・心理社会面のアセスメント	川添・増田・竹生
11	継続看護と在宅看護過程の展開(7)	在宅療養者の家族の理解・アセスメント(概論)	竹生
12	継続看護と在宅看護過程の展開(8)	事例を使ったアセスメントの実際 家族のアセスメント	川添・増田・竹生
13	継続看護と在宅看護過程の展開(9)	在宅療養者の住環境と地域の理解・アセスメント(概論)	竹生
14	継続看護と在宅看護過程の展開(10)	事例を使ったアセスメントの実際 住環境と地域のアセスメント	川添・増田・竹生
15	継続看護と在宅看護過程の展開(11)まとめ	アセスメントの統合、全体像から課題の明確化へまとめ	川添・増田・竹生

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題提出40%、定期試験60%

【教科書】

スーディ神崎和代編：在宅看護学講座．ナカニシヤ出版、2019

臺有桂他編：ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論 地域療養を支えるケア．メディカ出版、2022．

【参考書】

上田泉編：在宅看護過程演習 改訂版．クオリティケア、2019．

【備考】

Google form を使用した出席確認および、授業内容の理解度の確認を行う

【学修の準備】

- 1) 教科書の該当ページをあらかじめ読み予習して授業に臨むこと。(予習30分)
- 2) 在宅看護学各論の資料を必ず持参する。
- 3) ワークシート、事例の看護過程の展開、グループディスカッション、ロールプレイを通じた学習を振り返り記録をする。資料・教科書と自分の記録を読み返し復習する(復習30分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

川添恵理子(看護師・保健師・訪問看護師・入退院支援看護師・地域看護専門看護師・介護支援専門員)
竹生礼子(看護師・保健師・訪問看護師・介護支援専門員)
増田悠佑(看護師・訪問看護師・外来看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関・訪問看護事業所・介護施設などの実務経験で身につけた知識・技術・援助姿勢をいかし、実践で活用できる演習を行う。